

あつぎ気候市民会議に参加した市民の「脱炭素マイアクションプラン」一覧

「脱炭素市民アクションプラン in あつぎ」策定の議論終了後、参加市民一人一人が、自分が取り組む、自分にとって大事な「脱炭素マイアクションプラン」を考え、発表しました。

	脱炭素マイアクションプラン	理由
1	アクションプラン第1章(1)太陽光発電の導入の実現への協力	効果が高いと思われる。手本となる例もあり。実現性も高い。
2	近親者で自然災害の脅威を現実としてとらえていない節が見られます。1, 我が家では家族で車庫やベランダなど老朽化したものの取り外ししやすいものから太陽光発電に切り替えがじっこうできるように 話しました。2, 防草シートによる雑草対策でなく四季で花が見える、ほのかな香りがしてなごむことができ、食べられる。草花や四季樹木を植えて行くことにした。	五感を鍛えて豊かに生活ができるようにしたい。
3	太陽光パネルの設置、エコキュートの設置、自家用車をハイブリット車にすることから始まる。	ストレスなくできそうだから。
4	日常生活ではコンパクトでゆとりのある豊かな暮らし。電力は自家発電、自家消費。家庭菜園も含めて地産地消。年に数回、環境に良い取り組みをしている場所を訪問してみたい。	家計にも地域にも地球にも優しい取り組みをし、日常の生活が豊かになれば良い。
5	マイカーを持たない生活。	Eco & 健康維持 & 脱炭素社会の推進
6	・日常生活は、徒歩で暮らす。・断熱リフォームなど市民への支援を知りたい。	・健康で元気に生活する。・できるなら二重窓にしたい。・いろいろなことを知ることができた。
7	自家用車の使用を減らす。	環境と健康のため。
8	・近距離の移動では車に乗らず、なるべく自転車を利用する。・市に要求する(自転車レーン、専用通路)自転車が利用したいまちづくりを目指してほしい。	・今現在行っていることなので実現がしやすい。→様々な視点がある。(小回りが効く)・将来免許を取っても自転車を主な移動手段とすれば安くなる。(環境面に加え、個人の利点)・単純に楽しい。
9	本厚木駅までバスを使う、EV車に乗り換える。・太陽光発電グッズを使ってみる。	自分の生活の中で車の環境負荷が最も高いことを今回知りました。できることから始めようと思いました。
10	実行の伴うアクションプランを実践するにあたり今私に取り組めること。・車の買い換えを積極的に、EV車購入を検討する。・自宅に設置できる太陽光設備の検討。・生ごみ、コンポストの活用。・地産地消の農産物を進んで購入。	いま、自分で身近にできることから脱炭素アクションプランの実践に市民として少しでも参加したいと思います。
11	次回の車は電気自動車にしようと思っています。(今ハイブリット…)	なし。
12	家族や友人が車(ガソリン車)を購入しようとした際は電気自動車を買うよう説得する。	なし。

13	常に自分の自転車を一台所持しておく。	現実的な自転車での行動可能範囲は思ったより広くタクシーや自家用車の代わりとなるケースが多いが、所持していなければ使わない。
14	自転車の楽しさを探究し、周りにもつたえる。体力面やファッション、荷物が限られるという課題があると思うので、動きやすいけどおしゃれが楽しめるファッションや多機能リュックを紹介したり、健康にいいことを身近な人や SNS 等で発信する。	自転車が好きで、通勤や移動によく利用してきた自分だからできること、楽しんでできることだと思うから。
15	1, 自転車等の利用。2, クールビズをする。	すぐできる。
16	地球を思いやる生活 ・可能な限り、自転車や徒歩での移動（今できること）。・太陽光パネル、水力発電の設置、協力。・自動車の EV 化。（将来的にしたいこと）。	今からできることはまだ少ないが、将来車を買ったり家を買ったりするときに環境、地球の事を考えて生活したい。
17	シェアサイクルやマイボトルの利用等、現在すでに提供されているサービスを積極的に使う。一人暮らしを始める際は断熱の状況を意識して住まいを決める。	今できることをコツコツ行ったほうが普段から省エネについて意識できると思うから。
18	自宅の断熱リフォームを DIY で行う。	すぐに取り組みそうであるため。DIY をやったことがないので、新しく取り組んでみようと思います。
19	二重窓の良さを伝えていく。	自室の窓が二重窓で防音、断熱などの効果を実感しているので、他者にそれを伝え積極的に広げていく。
20	今あるものをできる限り長く使用していく。質のいいものを選ぶ。周囲に意識を拡大していく。	私自身は一点ものが好きだったりするために古着屋をよく利用したり、あるいは母が使っていた服を着ていたりするが、高校の友達などでは、ファストファッションブランドが流行ったりしてその背景には劣悪な労働環境があったり、質が良くないものがあったりと問題がある。私は今後も洋服などを問わずエシカル消費を続けて行きたいと思うが、それと同時に周囲の人が知識のあるうえでそれぞれ判断ができるように私自身の意識も伝えていきたい。
21	必要なものだけを消費する。「適量消費」「リユース」	家族で取り組めること。将来に向けて継続的に行えること。厚木市民の文化として子供たちと一緒にできたらいいなと思いました。
22	・電気自動車の購入を検討。・子供にエネルギーの事、環境の事、少しづつ伝えていく。・今の生活スタイル（地元の農家さんから買う、マイボトル、エコキュート、リユースなど）を継続。・環境問題の事を話題にしていく、環境に配慮したお店などを集めたマルシェの開催。	・自分でできることを少しづつ、小さな一歩でもやっていく。・無関係な人はいないのでまずは知り、そのうえで判断、選んでいけるように情報収集や、伝え広めていくのが大事だと思うため。
23	①モリンガなどの観葉植物を植えること。②不要なものを買わない。③マイボトル④チャンスがあれば環境雑談を友達や職場の人、近所の方などとする。	①空気をきれいにしてくれる。②ごみを作らないから。③プラスチックボトルの節約ができかなり減らせる。④環境への意識がとても少ないから。

24	<p>・エシカル消費。・太陽光発電の検討。・省エネ家電を選ぶ。・マイボトルで受ける自動販売飲料。</p>	<p>・エシカル、省エネ家電はすぐできる。(自分の意思のみ)。・太陽光はこれから自分で取り組みたい。・マイボトル,マイ容器で、少しでもごみを減らしたい。</p>
25	<p>・地産地消を意識した買い物や CFP を意識。・自家発電と消費(太陽光)を行う。・自分のコミュニティに市民会議で得た知識を広げていく。</p>	<p>・自分の意識次第で取り組める。・災害時にも有効。・自分の意識が変わると周りに影響を与え世界を変えていく。</p>
26	<p>・カーボンフットプリントの削減。・身の回りの人を巻き込む。</p>	<p>・カーボンフットプリントを意識して暮らしていけば CO2 の削減に繋がっていけると思ったからです。・生活スタイルの変化(楽しみながら実行する)。・通勤はマイカー通勤。・自分が手本になりつつ身の回りの人たちを巻き込んでいく。</p>
27	<p>環境共生していく。家電や車を使わないという極端な排除ではなくより環境にいいものを選ぶ生活をしていきたい。</p>	<p>今まで自分のお金や時間が無駄にならないことしか考えてなかった。これからは環境についても改めて考えていかなければいよいよやばいところまできたと身をもって感じる。</p>
28	<p>消費、食、農、廃棄について行動することです。企業や生産者の努力が不可欠ではありますが、回収できない形態で環境に排水されるマイクロプラスチックを含む製品やそれらを発生させる製品の使用を抑制することです。日用品なので全員がすぐ始められます。使用するものを純石鹼成分のみの石鹼にすべて変えています。</p>	<p>個人的な考えですが、地球温暖化、気候変動による異常な気温上昇は農薬から発生する VOC,柔軟剤や農薬が放散する浮遊粒子状物質(マイクロプラ)が大気や雲や雨に吸着して蓄熱作用のある被膜を作り、化学肥料から発生する CO2 の数百倍もの温室効果がある窒素による温室効果ガスが増大していると考えています。海外で訴訟問題、健康被害が発生している成分の日本のハンドソープや農薬の不使用、販売を禁止し、人や地球環境、すべての生き物と共存共栄する未来を目指したいです。</p>
29	<p>ごみを減らす。</p>	<p>三回目の会議で自分だったら何ができるか考えた時、身近な問題としてごみ問題だと思いました。ロードマップに 50 年までに 0 と表示されていて 50 年までだったら 0 に近づけるのではと思いました。しかしそんな簡単に事は進まないと思ったのは、ごみにも色々あって個人だけではできないこともあり行政の力も必要となります。その中で生ごみだったら個人が努力すればへらすことができると思います。まずは食から無駄なくロスをなくし自分に合った食生活することだと思います。コンポストでの堆肥づくりもしながら体に良い野菜作りをしたいと思います。自分のすることには限度がありますが協力できることは協力したい。</p>
30	<p>家から出るごみを減らすこと。</p>	<p>・自分でものを買う時考えてから買う。・再生可能な社会を実現するために。生ごみなどコンポストを利用し、ペットボトルを減らすためにマイボトルなど自分でできることから始める。</p>

31	一番に取り組むべきと思っていることは、まず、気候変動問題を「自分事とする」認識を持つことが大切であること。がいちばんであると感じた。友人との会話の中でも環境について問題にすることも多くなり、その中で生ごみのコンポストをしてみよう…などの取り組み意欲出てきました。そんな自分でできる小さなことから環境を考え、生活していけるように周りの人も巻き込みながら心がけていこうと思いました。	大きな脱炭素社会への推進は行政や企業に任せて今は自分にできることから今すぐやろうと思ったからです。
32	プラスチック製品の使用を減らす。弁当の容器がプラスチックのコンビニ弁当を買わない。	昼食に毎回弁当を買うより、作った方がプラスチックを減らせる。地産地消の野菜を使う。
33	プラスチック製品の使用を減らす。	即時実行が可能なため。
34	個人的には畑で野菜を育てながら生活していこうと思います。 自分にできる脱炭素からスタートしていきます。 今後は農業を通じた交流などもやっていけたらと考えています。野菜の販売などもやってみたいです。	自分の畑を耕作放棄地にしたくないので…
35	アクションプラン原案②をマイアクションプランとした。71項目については機会があれば参画したい。4項目については静観したい。	<p>静観したい4項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネル、蓄電池の設置は資金余力なし&amp;後期高齢者で先行き短い</li> <li>・日常生活は徒歩や自転車では、すでにEVを所有。難病を外来治療中。坂道が多い。</li> <li>・公共交通機関を積極的に利用するは、EV所有しているため。</li> <li>・自家用車の所有や利用を減らすはEVを所有しているため。</li> </ul>
36	今後、将来的に起こるであろうエネルギー不足や気候変動に対して、遠くのどこかの問題ではなく自分事として考えていくこと、このいまの気持ちを忘れないことをマイアクションプランとしたいと思います。	この会議に参加して、ランダムに選ばれた多くの市民の方が正義感と熱意をもってこの問題について考えているのを知り、たくさんのエネルギーをもらい、また専門家の人たちから生の知識を得ることができたからです。
37	市議投票（脱炭素に意欲的な候補者か考える。）、CFPを考える。	CFPが普及してないから。前回の選挙で話題になっていなかったから。